

名古屋国際会議場

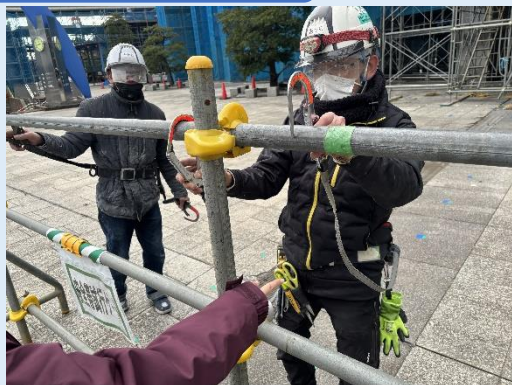
大規模改修工事進捗状況のお知らせ

令和8年2月 Vol.6



名古屋国際会議場は令和7年2月から令和9年3月末まで閉場し、大規模改修工事を実施しております。場内の改修工事の令和8年1月時点の進捗状況をお知らせしてまいります。

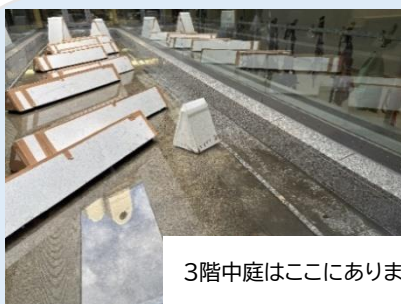
作業前の安全確認



現場では毎日朝礼を行っています。朝礼後、その日の注意事項を確認し、作業を開始する前に写真のように安全帯試行ゲートで保護メガネと安全帯着用の確認を行っています。この確認では、作業に適した保護具を身に付けているか、また高所での安全帯の使用 방법에問題がないかを確認しております。そのうえで、作業を安全に行っています。

「安全帯」は、高所作業での墜落を防ぐための保護具で法令上は「墜落制止用器具」に変更されましたが、現場では「安全帯」と呼ばれています。

防水工事



3階中庭はここにありです！



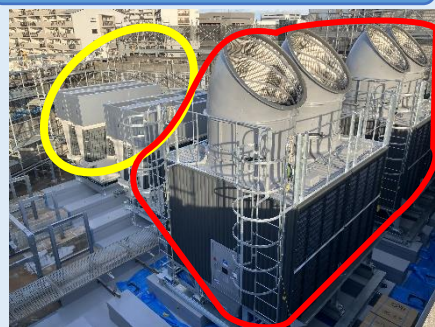
建物の外壁はいくつかに分割された外壁部材が縦横に少し隙間をあけて取り付けられています。この隙間を「目地」と呼びます。目地から水や空気の入りを防ぐために詰め物（シーリング材）を施しています。



左の写真は4号館3階中庭の写真です。写真では分かりづらいですが、「水張試験」を行っています。この試験は防水工事完了後、防水層に一定期間水を張り漏水がないか確認をするものです。右の写真はシーリングの施工状況です。改修工事では既存のシーリング材を撤去し、材質にあわせて適切なシール材を使用し、打替えを行っています。

設備機器工事

1号館に設置された館内空調のための設備機器をご紹介します



1号館5階屋外機置場

建物を効率よく冷やす為、二つの機械を活用します。

写真左（黄丸）は「チラー」と呼ばれ冷房時の冷水を作る機械です。

写真右（赤丸）は「冷却塔」と呼ばれ、冷水を作った際に発生した熱を外に逃す機械です。



1号館地下2階熱源機械室

既存の機械を撤去し、新しい「冷温水発生器」を設置しました。この機械は、冷暖房用の水を1台で作ることができます。1台で冷暖房の両方に対応ができます。

